

東浦和中学校 73年目のスタート

校長 石川 賢一

本校は、昭和22年4月1日新学制の実施により、旧浦和市立尾間木中学校として創立いたしました。昭和31年4月、校名を東浦和中学校と改名し、平成2年4月1日には新たに尾間木中学校が設立され分離独立いたしました。更に、平成13年5月1日浦和・大宮・与野の三市合併に伴い、「さいたま市立東浦和中学校」となりました。地域・保護者の力強い支えを基盤とし、日々の生徒・教職員によるエネルギッシュな学校教育活動により、今年度73年目を迎えた伝統ある学校です。

平成31年度は、新入生165名、新2年生187名、新3年生194名、生徒合計546名で、さいたま市立東浦和中学校スタートをいたしました。

学校教育目標 **夢を追い、自らを高めよ**

— 学べ ・ 磨け ・ 輝け —

この学校教育目標の下、

- (1) 秩序と活力のある学年・学級集団づくり (Grit) (Growth) ※
- (2) 「よい授業」4つの因子を踏まえた基礎・基本の確実な定着と
確かな学力の向上 (Grit) (Global) (Growth)
- (3) 組織的な生徒指導・教育相談体制の充実と関係機関との積極的な連携
(Grit)
- (4) 教育環境の整備・充実 (Grit) (Growth)
- (5) 健やかな心と体をはぐくむ食育の推進 (Grit) (Global)
- (6) 家庭・地域社会と共にある学校づくりの推進 (Grit) (Growth)
- (7) 小・中一貫教育・国際理解教育の推進 (Grit) (Global) (Growth)

※ さいたま市が日本一の教育都市を目指し、重視する、この先10年を見据えた子どもたちの未来のための計画「PLAN THE NEXT 3つのG」

を柱に、学校教育を進めてまいります。

社会の変化が激動といわれる時代をこれから生きる生徒たちに、人としてしっかりとつながり、よりよく生きていける力をつけるよう、今年度も、「寄り添い 導き 見届ける指導の実践」を教育実践の根底とし、教育活動をすすめてまいります。生徒たちのよりよい成長のため、教職員一同が力を結集し、保護者のみなさま、地域のみなさまと共に歩みます。

今年度もどうぞよろしく願いいたします。